

2013 年(平成 25 年) 2 月 6 日

「スポーツチャレンジ助成(体験／研究)」「国際スポーツ奨学金」 平成 25 年度(第 7 期生)助成対象者および奨学生決定のお知らせ

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)では、平成 25 年度(第 7 期生)「スポーツチャレンジ体験助成」対象 7 件、「スポーツチャレンジ研究助成」対象 12 件、「国際スポーツ奨学金(海外留学生／外国人留学生)」対象者 3 名を決定いたしました。

また、平成 25 年度(第 7 期生)から新設した「スポーツチャレンジ助成(体験／研究)」プログラム(基本助成)の修了者を対象とする継続助成については、対象 4 件(体験 3 件／研究 1 件)を決定しました。

平成 25 年度(第 7 期生)助成対象者・助成実績

		応募数	助成対象者および奨学生	助成実績(計)
スポーツチャレンジ体験助成	基本助成	44 件	7 件	619 万円
	継続助成	10 件	3 件	215 万円
スポーツチャレンジ研究助成	基本助成	68 件	12 件	1,115 万円
	継続助成	5 件	1 件	90 万円
国際スポーツ奨学金		22 名	3 名	360 万円
				合計 2,399 万円

なお、平成 25 年度(第 7 期生)の助成金贈呈式は、3 月 15 日(金)15 時 30 分から、ヤマハリゾートつま恋(静岡県掛川市満水 2000)にて開催いたします。

※対象者の氏名については 2 枚目以降をご覧ください。

※平成 25 年度の活動期間は、平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月までとなります。

「スポーツチャレンジ助成」「国際スポーツ奨学金」の概要

「スポーツチャレンジ助成」はスポーツを通じて、世界に翔ばたく逞しい人材を育成することを目的とした公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団の助成金交付制度です。

本制度には、基本助成として自己のキャリアアップを目的とした各種体験活動に対して助成金を交付する「体験助成」と、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付する「研究助成」の 2 部門があります。

また、この基本助成修了後 2 年以内の方を対象とする「継続助成①」と、「継続助成①」修了後 2 年以内の方を対象とする「継続助成②」があり、それぞれ一件あたりの助成金は 100 万円を上限とし、交付期間は 1 年間となります。

一方「国際スポーツ奨学金」は、スポーツの普及・振興にかかわる学問・研究に取り組む国内外の留学生を対象とした奨学金制度で、奨学金は大学生、大学院生ともに 10 万円(月額)とし、給与期間は 1 年または 2 年間です。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局：担当・河邊/望月

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500 番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

平成 25 年度(第 7 期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧

基本助成				
氏名(年齢)	競技種目／他	体験テーマ	所属	出身地
うめの ゆり 梅野 裕理(17)	スキー(障害者スポーツ)／選手	チェアスキー技術の向上とレーシング技能の強化 ―障害者アルペンスキーへの挑戦―	啓明学院高等学校 2 年	兵庫県
こばやし ゆき 小林 由貴(25)	スキー(クロスカントリー)／選手	クロスカントリースキー2014 年ソチオリンピック出場・活躍のための競技力向上	岐阜日野自動車株式会社	新潟県
さとう まりの 佐藤 麻梨乃(17)	陸上・棒高跳び(障害者スポーツ)／選手	第22回夏季デフリンピック 棒高跳びの部で優勝と世界ろう者新記録	横須賀市立ろう学校 高等部 2 年	神奈川県
たなか こうたろう 田中 幸太郎(22)	レスリング／選手	アマチュアレスリング競技におけるオリンピック金メダルへの挑戦	早稲田大学 4 年	京都府
はねだ たくや 羽根田 卓也(25)	カヌー／選手	カヌースラローム競技において、リオ五輪及びその他国際大会でのメダル獲得への取り組み	コメニウス体育大学 (スロバキア)	愛知県
はらだ さよこ 原田 小夜子(25)	セーリング／選手	夢へのチャレンジ ～2016 年リオ五輪セーリング競技日本代表に向けて～	国立大学法人鹿屋 体育大学 海洋スポーツセンター	長崎県
やすだ よしたか 安田 好隆(28)	サッカー／指導者	ポルトガルでの日本人指導者としての挑戦 ～大学院出身のプロサッカー指導者という新たな道を拓く～	ポルト大学大学院 修士課程 2 年	東京都
継続助成				
たい さゆり 田井 小百合(33)	陸上(障害者スポーツ)／選手	デフリンピック陸上競技 100m ハードルで金メダル獲得をめざす ―聴覚障がいの母の挑戦―	佐世保市陸上競技協会	千葉県
たけはな こうたろう 竹花 康太郎(26)	陸上・棒高跳び(障害者スポーツ)／選手・指導者	第22回夏季デフリンピック大会陸上競技・棒高跳びの部で金メダル獲得&世界ろうあ記録更新	横須賀市立ろう学校 教諭	大阪府
ひらた あやね 平田 彩寧(17)	ラグビー／選手	女子ラグビーでの五輪・WCP 出場に向けての強化活動と女子ラグビーの普及	石見智翠館高等学校 2 年	静岡県

(平成 25 年 2 月 6 日現在)

平成 25 年度(第 7 期生) スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧

基本助成		
氏名(年齢)	研究テーマ	所属
あべ まさき 阿部 匡樹(40)	共同力発揮課題における個々の貢献度の組織化:運動の最適化?それとも社会性の影響?	東京大学先端科学技術研究センター 認知科学分野 特任研究員
いしざわ りえ 石澤 里枝(26)	運動によるミトコンドリア生成の亢進に対する中鎖脂肪酸の貢献 ～分子シグナルとしての新たな機能～	金沢大学大学院 自然科学研究科生命科学専攻 博士課程 2 年
いわもと 岩本 えりか(27)	低酸素環境が運動時の血流パターンに与える影響 ー新たな運動処方プログラム作成を目指してー	札幌医科大学 保健医療学部 理学療法第二講座 助手 大学院博士課程 3 年
えがわ けんいち 江川 賢一(41)	住民協働によるスポーツ推進計画に基づく健康なまちづくり ースポーツ実施率増加プロセスに関する実証研究ー	早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科 博士課程 1 年
おがさわら りき 小笠原 理紀(28)	トレーニング効果の停滞に関与する因子とメカニズムの解明	立命館大学 総合科学技術研究機構 ポストドクトラルフェロー
たけむら よしあき 竹村 嘉晃(41)	ヨーガの健康・社会的機能の解明と大学教育への導入促進ー 日・印・米の比較を通して	国立民族学博物館 大学共同利用機関 外来研究員
てらだ しん 寺田 新(37)	エビジェネティクス理論を活用した運動による抗糖尿病効果を 増強する方法の開発	東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系 身体運動科学研究室 准教授
はせがわ ゆみこ 長谷川 弓子(36)	ゴルフに心理的距離は存在するか	中京大学大学院 体育学研究科 スポ ーツ認知・行動科学系 博士課程 4 年
ひがしだ かずひこ 東田 一彦(29)	持久的パフォーマンス向上を目的とした筋内脂肪の形成・分解 の分子機構の解明	立命館大学 総合科学技術研究機構 ポストドクトラルフェロー
ふくはら かずのぶ 福原 和伸(33)	球技スポーツ選手の予測技能獲得に向けたバーチャルヒトモデル の構築	首都大学東京 人間健康科学研究科 助教
まつしま つよし 松島 剛史(31)	グローバル化過程におけるラグビー文化の統治に関する歴史 社会学的研究	立命館大学大学院 社会学研究科 研究生
わかばやし ひとし 若林 斉(34)	現代の子どもの生活運動習慣が体温概日リズムおよび発育・発 達に及ぼす影響の検討	千葉工業大学 工学部教育センター 助教
継続助成		
せと くにとひろ 瀬戸 邦弘(40)	アジア共通のスポーツ文化である民俗綱引きを通して、地域の 共通性を確認し、国際理解・友好を深める。	上智大学 文学部 保健体育研究室 常勤嘱託講師

(平成 25 年 2 月 6 日現在)

平成 25 年度(第 7 期生) 国際スポーツ奨学金 対象者一覧

海外留学生奨学金			
氏名(年齢)	留学国/留学先校	留学テーマ	所属
ごんじょう ともひろ 言上 智洋(25)	イギリス / The University of Edinburgh	いかにしたら速く泳げるか? ー動作解析研究から、最速の泳技術を探求するー	イギリス / The University of Edinburgh 大学院博士課程 1 年
さとう じゅんいち 佐藤 潤一(27)	フランス / HEC Paris Sciences Po Paris	メガスポーツイベントにおける若年層向けマーケティング戦略の研究 ソーシャルメディアとの連携に着目して	イギリス / London School of Economics and Political Science 大学院修士課程 1 年
外国人留学生奨学金			
氏名(年齢)	国籍	留学テーマ	所属
かく ようしゅう 郭 叶舟(27)	中国	中国における障害者水泳の現状と課題 ー日本の障害者水泳との比較を通してー	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 修士課程 1 年

(平成 25 年 2 月 6 日現在)

ご参考

【 スポーツチャレンジ助成 申請者全体 】

		体験助成	研究助成
申請件数		54 件 男性 32 件・女性 22 件/個人 49 件・グループ 5 件	73 件 男性 56 件・女性 17 件/個人 32 件・グループ 41 件
年 代 別	10 代	7 件(13%)	0 件(0%)
	20 代	36 件(66%)	22 件(30%)
	30 代	3 件(6%)	31 件(42%)
	40 代	5 件(9%)	17 件(23%)
	50 代以上	3 件(6%)	3 件(4%)
平均年齢		27.5 歳	35.2 歳
その他 属性		アスリート 36 件(67%) 指導者 5 件(9%) 障害者スポーツ 10 件(19%) その他 3 件(5%)	准教授 17 件(23%) 講師 9 件(12%) 助教・助手 14 件(19%) 教諭 0 件(0%) 博士課程 22 件(30%) その他 11 件(15%)

※継続助成申請も含んだ数字です。

【 スポーツチャレンジ助成 助成対象者 】

		体験助成	研究助成
申請件数		10 件 男性 4 件・女性 6 件/個人 10 件・グループ 0 件	13 件 男性 10 件・女性 3 件/個人 9 件・グループ 4 件
年 代 別	10 代	3 件(30%)	0 件(0%)
	20 代	6 件(60%)	4 件(31%)
	30 代	1 件(10%)	6 件(46%)
	40 代	0 件(0%)	3 件(23%)
	50 代以上	0 件(0%)	0 件(0%)
平均年齢		24.3 歳	33.8 歳
その他 属性		アスリート 5 件(50%) 指導者 1 件(10%) 障害者スポーツ 4 件(40%) その他 0 件(0%)	准教授 1 件(10%) 講師 1 件(10%) 助教・助手 3 件(20%) 教諭 0 件(0%) 博士課程 3 件(20%) その他 5 件(40%)

※継続助成対象者も含んだ数字です。

【 国際スポーツ奨学金 申請者全体および対象者 】

	日本人留学生	外国人留学生
申請数	6 名 (男性 6 名・女性 0 名)	16 名 (男性 11 名・女性 5 名)
奨学生(決定者)	2 名 (男性 2 名・女性 0 名)	1 名 (男性 1 名・女性 0 名)
奨学金 計(1 年間×人数)	240 万円	120 万円